

## ISO9001認証取得

2006年7月31日現在

●組合員世帯数	9,567世帯
●出資金総額	209,982,000円
●一世帯平均出資金額	21,948円

※住所、氏名を変更された方は組織部までお知らせください。

☎5680-7166

## 健康のはぐくま

東京葛飾医療生活協同組合
〒125-0063 葛飾区白鳥2-3-6 ☎(5680)7166 FAX(5680)7167
下千葉診療所 ☎5672-0801
篠原診療所 ☎3697-0765
金町診療所 ☎3607-5124
ほりきり訪問看護ステーション ☎3690-7112
かなまち訪問看護ステーション ☎3609-3060
しょうぶえん通り訪問看護ステーション ☎5629-7229
水元訪問看護ステーション ☎3608-4750
ヘルバーステーション虹の輪 ☎3826-7076
ヘルバーステーション虹の輪かなまち ☎5629-7229
ヘルバーステーション虹の輪水元 ☎3608-4752

妹と母を三月十日の東京大空襲で奪われたた  
だ一人残った父親も機銃掃射で目の前で殺された娘に残されたものは、空襲で焼けてしま  
つた父の工場に残された熱で溶けてひしやげ  
た熱で溶けてひしやげ

兄を戦争で徴集され  
妹と母を三月十日の東京大空襲で奪われたた  
だ一人残った父親も機銃掃射で目の前で殺された娘に残されたものは、空襲で焼けてしま  
つた父の工場に残された熱で溶けてひしやげ  
た熱で溶けてひしやげ

2006年7月31日現在  
●組合員世帯数  
●出資金総額  
●一世帯平均出資金額  
※住所、氏名を変更された方は組織部までお知らせください。

☎5680-7166

## 白鳥支部



貴重な被爆体験が

子さんの原作に、なつかしい「黄金バット」  
の加太こうじさんの作品で製作されたもので  
す。葛飾昔話研究会が寄贈を受けて上演され続  
けています。

地区センターで行われた平和のつどいは、お

だけに、お盆と雨にいたたまれて参加者が三十  
八名と少なかったのが残念です。

地区センターで行われた平和のつどいは、お

話の内容がよかったです。

紙芝居は作家高木敏

かしい「黄金バット」

の加太こうじさんの作品で製作されたもので  
す。葛飾昔話研究会が寄贈を受けて上演され続  
けています。



葛飾区では約四割の

から外されました。

葛飾区では約四割の

を除き保険給付の対

象としないこととす

る。既に福祉用具貸

（82歳）が「原爆と戦

争を片時も忘れたこと

はない」と。母親やお

姉さんのことを話した

すと、胸が詰まって声

にならざるにいる姿が印

象的でした。

八月五日、ピースア

クションinヒロシマで

は展示や上映コーナー

、証言コーナーを回

りました。証言コーナ

ーでは、被爆者の方が

子どもたちにゲートル

の巻き方を教えていま

した。そして、夕食後

の被爆者との交流では

二十一歳のとき爆心地

から二キロの千田町で

被爆した溝口久子さん

が「原爆と戦

争を片時も忘れたこと

はない」と。母親やお

姉さんのことを話した

すと、胸が詰まって声

にならざるにいる姿が印

象的でした。

八月五日、ピースア

クションinヒロシマで

は展示や上映コーナー

、証言コーナーを回

ました。証言コーナー

では、被爆者の方が

子どもたちにゲートル

の巻き方を教えていま

した。そして、夕食後

の被爆者との交流では

二十一歳のとき爆心地

から二キロの千田町で

被爆した溝口久子さん

が「原爆と戦

争を片時も忘れたこと

はない」と。母親やお

姉さんのことを話した

すと、胸が詰まって声

にならざるにいる姿が印

象的でした。

八月五日、ピースア

クションinヒロシマで

は展示や上映コーナー

、証言コーナーを回

ました。証言コーナー

では、被爆者の方が

子どもたちにゲートル

の巻き方を教えていま

した。そして、夕食後

の被爆者との交流では

二十一歳のとき爆心地

から二キロの千田町で

被爆した溝口久子さん

が「原爆と戦

争を片時も忘れたこと

はない」と。母親やお

姉さんのことを話した

すと、胸が詰まって声

にならざるにいる姿が印

象的でした。

八月五日、ピースア

クションinヒロシマで

は展示や上映コーナー

、証言コーナーを回

ました。証言コーナー

では、被爆者の方が

子どもたちにゲートル

の巻き方を教えていま

した。そして、夕食後

の被爆者との交流では

二十一歳のとき爆心地

から二キロの千田町で

被爆した溝口久子さん

が「原爆と戦

争を片時も忘れたこと

はない」と。母親やお

姉さんのことを話した

すと、胸が詰まって声

にならざるにいる姿が印

象的でした。

八月五日、ピースア

クションinヒロシマで

は展示や上映コーナー

、証言コーナーを回

ました。証言コーナー

では、被爆者の方が

子どもたちにゲートル

の巻き方を教えていま

した。そして、夕食後

の被爆者との交流では

二十一歳のとき爆心地

から二キロの千田町で

被爆した溝口久子さん

が「原爆と戦

争を片時も忘れたこと

はない」と。母親やお

姉さんのことを話した

すと、胸が詰まって声

にならざるにいる姿が印

象的でした。

八月五日、ピースア

クションinヒロシマで

は展示や上映コーナー

、証言コーナーを回

ました。証言コーナー

では、被爆者の方が

子どもたちにゲートル

の巻き方を教えていま

した。そして、夕食後

の被爆者との交流では

二十一歳のとき爆心地

から二キロの千田町で

被爆した溝口久子さん

が「原爆と戦

争を片時も忘れたこと

はない」と。母親やお

姉さんのことを話した

すと、胸が詰まって声

にならざるにいる姿が印

象的でした。

八月五日、ピースア

クションinヒロシマで

は展示や上映コーナー

、証言コーナーを回

ました。証言コーナー

では、被爆者の方が

子どもたちにゲートル

の巻き方を教えていま

した。そして、夕食後

の被爆者との交流では

二十一歳のとき爆心地

から二キロの千田町で

被爆した溝口久子さん

が「原爆と戦

争を片時も忘れたこと

はない」と。母親やお

姉さんのことを話した

すと、胸が詰まって声

にならざるにいる姿が印

象的でした。

八月五日、ピースア

クションinヒロシマで

は展示や上映コーナー

、証言コーナーを回

ました。証言コーナー

では、被爆者の方が

子どもたちにゲートル

の巻き方を教えていま

した。そして、夕食後

の被爆者との交流では

二十一歳のとき爆心地

から二キロの千田町で

被爆した溝口久子さん

が「原爆と戦

争を片時も忘れたこと

はない」と。母親やお

姉さんのことを話した

すと、胸が詰まって声

にならざるにいる姿が印

象的でした。

八月五日、ピースア

クションinヒロシマで

は展示や上映コーナー

、証言コーナーを回

ました。証言コーナー

では、被爆者の方が

子どもたちにゲートル

の巻き方を教えていま

した。そして、夕食後

の被爆者との交流では

二十一歳のとき爆心地

から二キロの千田町で

被爆した溝口久子さん

が「原爆と戦

争を片時も忘れたこと

はない」と。母親やお

姉さんのことを話した

すと、胸が詰まって声

にならざるにいる姿が印

象的でした。

八月五日、ピースア

クションinヒロシマで

は展示や上映コーナー

、証言コーナーを回

ました。証言コーナー

では、被爆者の方が

子どもたちにゲートル

の巻き方を教えていま

した。そして、夕食後

の被爆者との交流では

二十一歳のとき爆心地

から二キロの千田町で

被爆した溝口久子さん

が「原爆と戦

争を片時も忘れたこと

はない」と。母親やお

姉さんのことを話した

すと、胸が詰まって声

にならざるにいる姿が印

象的でした。

八月五日、ピースア

クションinヒロシマで

は展示や上映コーナー



